

■ 国府台公園再整備事業 概要

【対象地】

- ・公園名：国府台公園
- ・場所：市川市国府台1丁目6番4号
- ・公園種別：都市公園分類 運動公園
- ・面積：71,767.34㎡
- ・運動施設：
  - 体育館 昭和48年開設 面積4,320.6㎡ 地上3階建 鉄筋コンクリート造
  - 野球場 昭和25年開設 面積19,197.37㎡
  - 陸上競技場 昭和28年開設 面積18,118.53㎡
  - テニスコート（休場中）昭和29年開設 面積2,132.68㎡

【事業目的】

本市の北西部におけるスポーツ施設の拠点として、各施設の機能向上や環境美化を図るとともに、公園として緑地や自然環境の保全、地域住民の憩いの場となるよう、機能を充実させ、多世代の方が健康づくりや交流など、様々な目的で訪れる魅力ある公園の整備を行うものです。

【計画地の区分】

- ・区域区分 市街化区域
- ・地域区分 第1種中高層住居専用地域・第2種高度地区
- ・景観計画区分 自然と歴史の住宅地ゾーン・幹線道路沿道ゾーン

【審議事項】

- ・緑地空間の整備方針、建築物や工作物の色彩方針

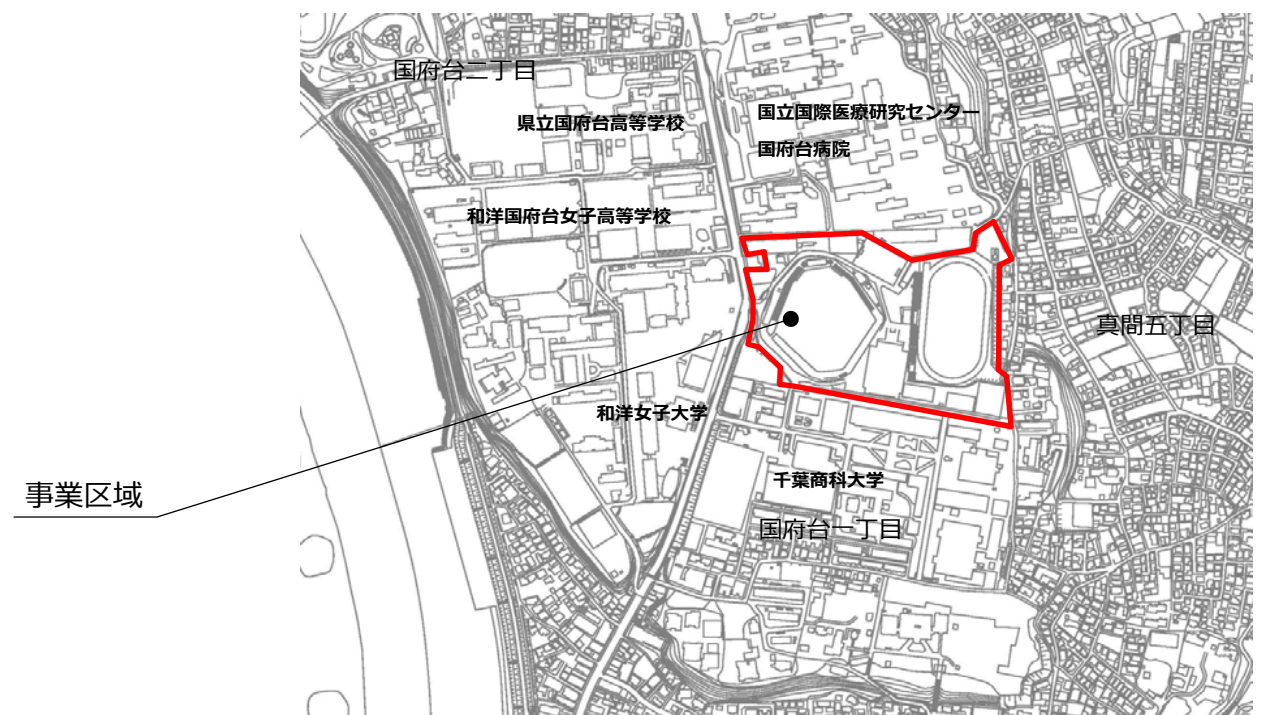
【事業スケジュール（予定）】

- 平成30年度
  - ・測量業務
  - ・基本設計業務（市民意見の聴取・アドバイザーの意見聴取を実施）
  - ・テニスコート舗装改修（予定）
- 平成31年度
  - ・野球場実施設計（※基本設計における整備スケジュールによる）
- 平成32年度～
  - ・野球場整備工事（※基本設計における整備スケジュールによる）

【整備方針（案）】

- ・老朽化施設の整備方法や整備スケジュールを明確にする。特に、老朽化の著しい野球場の改修による機能向上を図る
- ・歩行者と車両の動線分離による利用空間（オープンスペース）の確保と緑地空間の確保による公園機能の充実を図る
- ・敷地・園路の有効活用として、ウォーキング・ジョギングコースを配置する
- ・周辺環境やニーズ等の諸条件を踏まえ、施設や公園の「多機能化」を図る

【位置図（航空写真）】





■ 現況写真



①公園北側に隣接する道路（公園園路）



② 公園内の駐車場



③ 公園拡充予定地



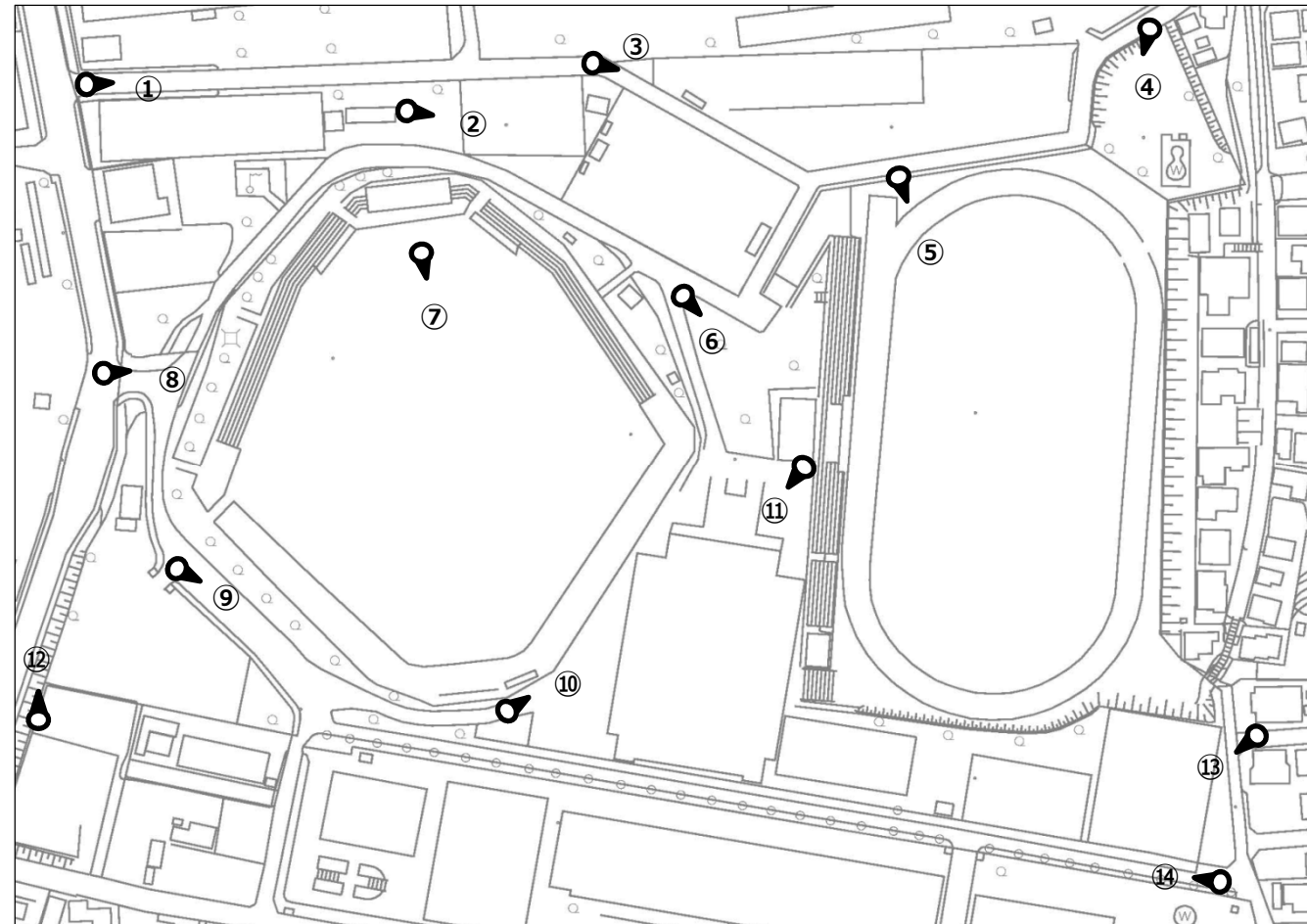
④ 児童公園



⑤ 陸上競技場



⑭ 公園南側に隣接する道路（公園園路）



⑥ 公園内の広場



⑬ テニスコートと児童公園



⑦ 野球場



⑫ 公園西側に隣接する道路  
（千葉県道1号市川松戸線）



⑪ 体育館



⑩ 公園南部の空き地（旧駐車場）



⑨ 公園南西部の通路



⑧公園の正面入口



■ 関連計画における市北西部・国府台公園の位置づけ

■ 総合計画・市川市都市計画マスタープラン

(市川市総合計画第二次基本計画)

第1章 真の豊かさを感じるまち

第1節 健康で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちをつくります

- ・ 築年数が50年を超える施設の計画的な再整備の必要性
- ・ 多くの人々がスポーツに親しめる取り組み (人材育成・活動支援・イベント開催・情報提供など)

第2章 安全で快適な魅力あるまち

第2節 快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進めます

- ・ ユニバーサルデザインに配慮した施設整備 (多機能トイレ・多言語案内板など)

(市川市都市計画マスタープラン)

地域別構想・北西部地域

- ・ 将来像：“水と緑の回廊”を活用した人が育むまち
- ・ 目標：豊かな自然と固有の歴史を「守り・育て・つなげる」まちづくり  
水と緑に守られた誰もが「安心して快適に」暮らせるまちづくり  
活気と潤いが調和する「めりはり」のあるまちづくり  
世代をこえて誰もが「集い・語り・触れ」あえる市民主体のまちづくり
- ・ 将来構造の位置づけ：緑の拠点・文教ゾーン (歴史的資源や文化・教育環境の特色)

■ 市川市景観基本計画

- ・ 基本理念：共感と継承
- ・ 基本目標：1 水と緑を生かした心地よい景観をつくります  
2 歴史文化を伝える風情のある景観をつくります  
3 まちの個性に彩られた、表情豊かな景観をつくります  
4 快適、安全性を基本に、市民参加により、生活風景を大切にしたい心に残る景観をつくります
- ・ 基本方針：まち並み景観：公共施設の景観 (すぐれた景観の公園や公共建築の実現)
  - ① 景観まちづくりを先導する質の高い公共施設づくり (地域の景観まちづくりの貢献)
  - ② 地域の特性を生かした公園や広場づくり (人々の交流を誘発する場づくり)
  - ③ 市民参加による公共施設づくり (市民による地域にあったデザインの創出)

(自然と歴史の住宅地ゾーン)

- ・ 基本要素：① 斜面林と樹林 ② 歴史を語る資源 ③ 緑に恵まれた住宅地 ④ 印象的な眺望
- ・ 目標：「緑にあふれたまち」を、みんなでつくり、育てましょう
- ・ 方針：① 自然や歴史を生かしながら、人々の交流の場 (拠点) をつくる
  - ② 緑が印象的な、静かで心地よいまち並みを育てる
  - ③ 緑を育み連続させ、緑の景観ネットワーク (軸) をつくる
  - ④ 地域を象徴する、自然的な眺望景観を大切にする

(幹線道路沿道ゾーン)

- ・ 基本要素：① 沿道地域の個性 ② 連続する眺望 ③ 人々の活動・交流する場 ④ シンボル性とインパクト
- ・ 目標：人々のふれあいを育む「楽しいまち」をつくりましょう
- ・ 方針：① 人々の交流を育むネットワーク (景観軸) として、明るく楽しい安全な道路空間をつくる
  - ② 地域の個性と大切に、愛着のもてる沿道景観を育てる
  - ③ 沿道の緑が周辺にも広がるように、緑の景観を育てる

■ 市川市みどりの基本計画

- ・ 基本理念：人と緑とのかかわりを大切にする
- ・ 緑の将来像：潤いと安らぎあふれる緑豊かなまち  
「緑」まとまった樹林地、歴史ある巨木、魅力ある公園等からなる憩いの空間
- ・ 基本方針 2 魅力ある都市公園を創出します
  - 2) 都市公園の魅力を高める
    - ① 公園の再整備の推進 (憩いの場の充実)
    - ② 自然環境を活かした都市公園の整備 (動植物の環境保全)
    - ③ 特色ある都市公園の整備 (地域特性)
    - ④ 安全・安心の公園整備 (公共施設との一体性)
    - ⑤ ユニバーサルデザインの公園整備 (園路・トイレ等)
- (地域別方針・北西部地域)
  - ・ 施策の方針 歴史・文化を育む水と緑の回廊のまち
    - ・ 緑の拠点の創出：国府台公園の景観維持：緑の多い運動公園としての景観を維持し、  
周辺の教育施設との調和を図ります。
  - ・ 国府台公園の位置づけ：緑の拠点・歴史的景観ゾーン

■ 市川市スポーツ振興基本計画・市川市北東部スポーツタウン基本構想

(市川市スポーツ振興基本計画)

基本目標 2 スポーツをする空間・場所の確保・充実

- ・ スポーツ環境の充実を図っていくため、関連計画や市民ニーズを踏まえながら、計画的・効果的な改修 (施設の機能性向上・環境美化) を進めていく

(市川市北東部スポーツタウン基本構想)

国府台公園の施設改善

- ・ 体育館及びテニスコート機能の縮小 (運動施設率の改善)
- ・ 野球場・陸上競技場の施設改修
- ・ 野球場バックスタンド改修とスポーツセンター管理機能の集約
- ・ 十分な用地の確保 (運動公園敷地の拡張)
- ・ 駐車場の確保
- ・ 憩い・レクリエーションに供するオープンスペースの確保
- ・ バリアフリーの推進

■ 市北西部・国府台公園の位置づけ・将来像

【キーワード】

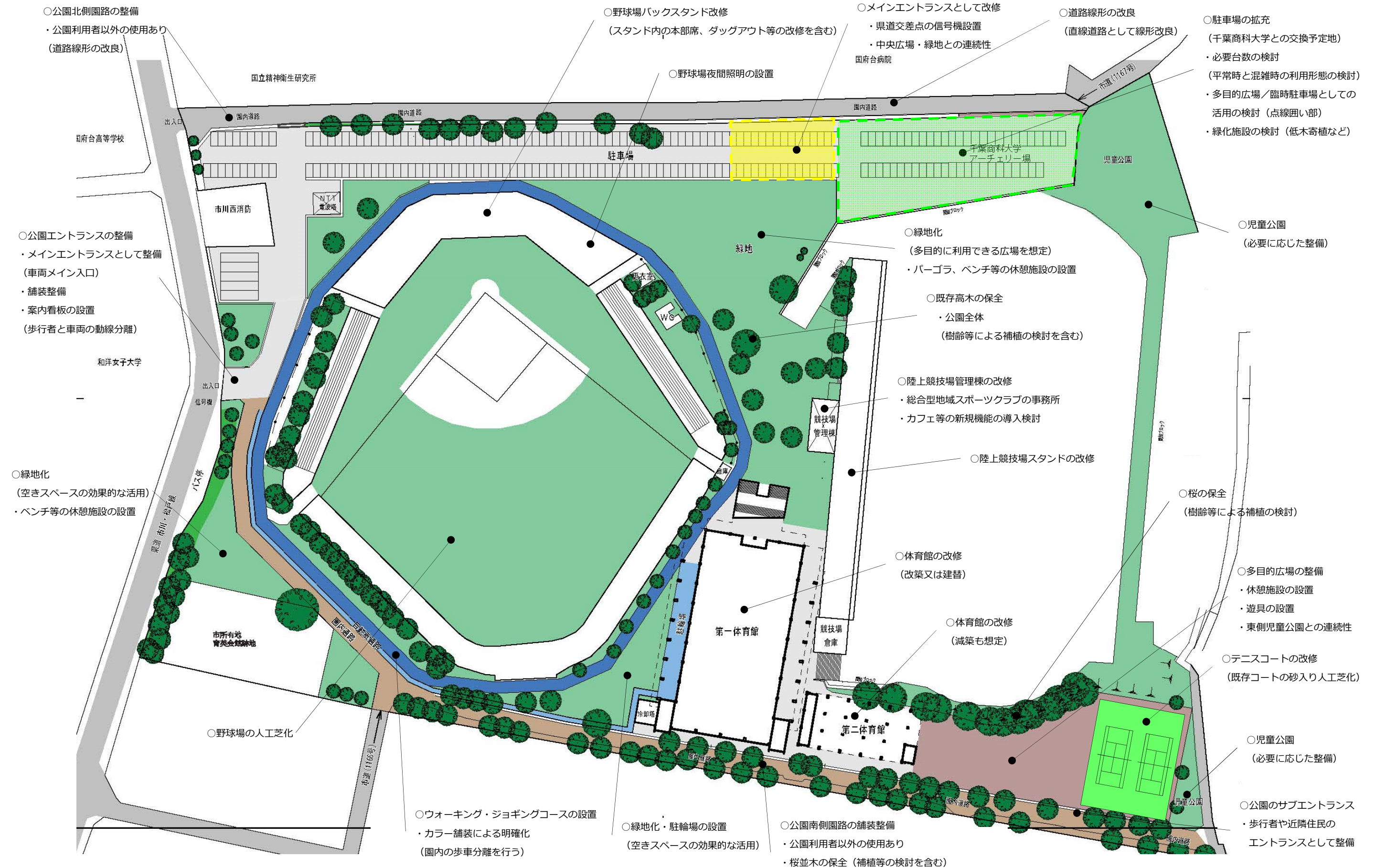
- ・ 緑や自然の拠点
- ・ 歴史的景観、文化、教育環境の地域特色
- ・ 多世代の方の「集い・交流・憩い」の場づくり
- ・ 地域特性を活かした景観の実現
- ・ スポーツに親しめる環境・施設整備

【整備方針案】

- ① 緑や歴史的資源の保全と景観の調和
- ② 緑や自然環境を楽しめる空間づくり
- ③ スポーツやレクリエーションによる多世代の交流・憩いの場づくり

■ 基本計画図

整備コンセプト：多世代の方がスポーツや健康づくり、憩い・交流の場として訪れる魅力ある施設として、地域特性を踏まえ、スポーツと公園の機能向上と充実、多機能化の推進を図る

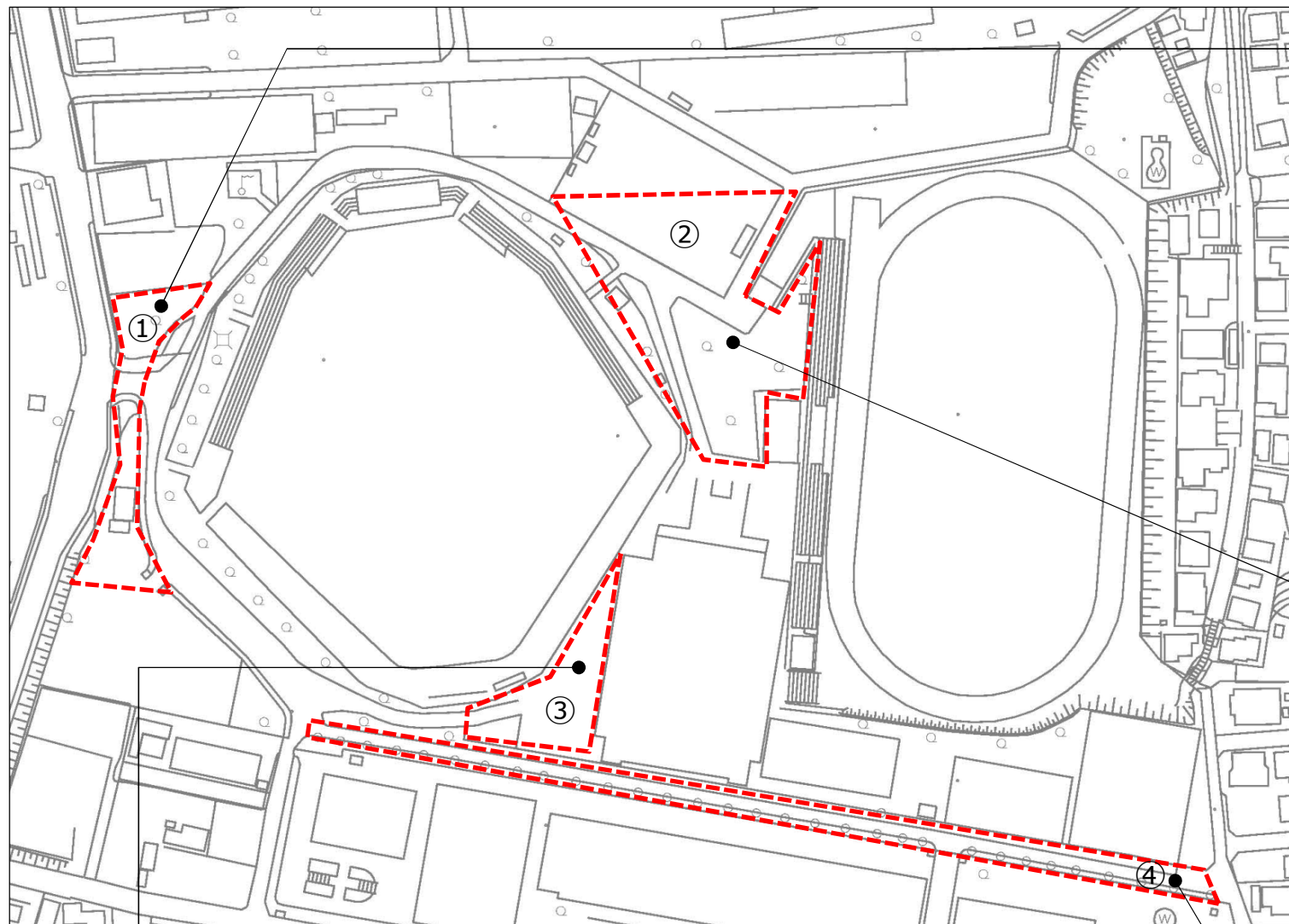




■ ゾーニングとイメージ (緑地)

基本設計ゾーニング図

※今後の意見聴取等により変更する場合があります



① メインエントランスと周辺緑地  
※エントランスイメージ



- 公園の顔として、スポーツと自然の景観を演出
- ・正面の野球場周辺の植栽空間を配置
  - ・スポーツ施設等の案内看板の設置
  - ・来場者の歩車分離を図り安全性を確保

※エントランス付近の緑地イメージ



- ・利用団体の集合場所としての空間を確保
- ・気軽に来場できる雰囲気と園内・園路との連続性を創出

② 公園の中央広場  
※緑地イメージ



- 公園のメイン広場として整備
- ・既存の高木を存置し、文教地区としての歴史ある公園を演出する
  - ・気軽に自由に利用できる空間を確保

※休憩施設イメージ



- 広場の休息空間
- ・公園利用者、スポーツ施設利用者が自由に憩い交流が図れる空間を創出する
  - ・休憩施設の素材等は自然とのマッチングを図る

③ 緑地広場 (桜並木やウォーキング・ジョギングコースとの連続性)

※緑地イメージ



- 自然豊かな広場として整備
- ・桜並木の景観連続性を演出し、春には桜を楽しむ広場として整備する
  - ・桜以外にも四季折々の草花が楽しめる空間を配置

※ウォーキングジョギングコースと緑地イメージ



- ウォーキングジョギングコースとの連続性を確保
- ・コース沿いには植栽を配置し、自然の中での運動空間を創出する
  - ・休憩施設を配置し、憩い・交流の場として整備

④ 公園南側の桜並木とサブエントランス  
※現況写真 (桜並木)



- 桜並木の保全
- ・春季に桜を楽しむ景観を存置する
  - ・桜の将来的な保全のため、計画的な補植等を推進する

※サブエントランスイメージ



- ・近隣の住民や歩いて訪れる方のエントランスとして、園内広場との連続性を演出する
- ・憩いや交流の場所として、気軽に立ち寄れる空間を創出する